

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：パリー・ラン
 第 2550 地区ガバナー：伊東 永峯
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-5
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
 E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
 例会：国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2851回 村山年度 第34回 会報 2019 6-5 司会 時庭稔君

🌀 お客様

- 米山記念奨学生
権鎬珍様



ランド等が整備され、有効活用という点では合理的ですが、私の勝手な思いからすれば元の自然豊かな、蜷が乱舞する川辺のたたずまいには到底及びません。

入りを少し外してしまいました。さて、今月のロータリー特別月間のテーマは「ロータリー親睦活動」でございます。ここで言う親睦活動は、クラブを越えて、趣味や職業等共通の認識を持つ世界中のロータリアンとの交流活動とご理解ください。

例えば、黒磯クラブの大森貞男さんは、スキューバダイビングをなさるため、海外にお出かけになります。それを世界中のロータリアンに呼びかけ、あるいは、同じ趣味のロータリアンの呼びかけに応じることによって、自分のクラブや国境を越えた友情を築く機会とする。こうご理解ください。そしてそのことにより、ロータリーの公共イメージとブランド力を高め、ロータリー入会やロータリー活動への参加を促します。

🌀 会長挨拶 村山茂会長



ただ、この活動は国際ロータリーからは独立し、独自の規定、会費、管理体制が必要です。また、メンバーになれるのはロータリアンとその家族、ロータリーのプログラム参加者/学友です。独自と言えば聞こえはいいですが、責任は持たないということでしょうか。

6月は、各親睦グループがプロジェクト、活動及び催しを通してそれを祝う活動を奨励する月ということでございます。

ちなみに、この親睦グループですが、多種多様な言葉がピッタリ当てはまります。例えば、「キャラバン式旅行」、「ロータリーのピン」、「ヘビメタ愛好家」、「旅行、ホストとしてのおもてなし」、これ、わざと変なものを紹介しておりますが、大抵のジャンルのものでございます。興味のある方はネットで検索してみてください。

以上、本日のご挨拶といたします。ご清聴ありがとうございました。

皆様、今日は。あつという間に6月を迎えました。この季節になりますと、水田の稲のたなびきと那珂川の鮎釣りの風景が思い浮かびます。そして、その両方がマッチしている、構造物がない場所。最近はそのような場所が少なくなりました。上黒磯地区には少し残されているようです。キャンプ場やグラ

出席報告 出席委員会 井出法君 (出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 6月 5日	37(7)	32(5)	5(2)	91.4%		
前回 5月29日	37(7)	30(5)	7(2)	85.7%	3	94.2%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gqvn2b29k@sound.ocn.ne.jp

● 幹事報告 植竹一裕幹事



村山年度第34回幹事報告

- 那須塩原ハーフマラソン実行委員会より第14回ハーフマラソン開催に伴う後援、協賛の依頼が届いております。回答締切が6月21日でしたので、藤崎社会奉仕委員長にお渡し致しました。
- 本日例会終了後村山年度第16回理事・役員会を開催致します。理事・役員の皆様はお残り下さい。

● 米山記念奨学金贈呈



宇都宮大学農林共生社会科学博士課程3年 権 鎮珍君

● 親睦委員会 委員 井出法君



皆さんこんにちは。親睦委員会委員の井出です。今月の誕生祝いは澤田吉夫さんです。

結婚記念日のお祝いは佐藤博さん、時庭稔さん、石山桂子さん、和気勝利さん、藤崎善隆さんです。

● 誕生祝い



澤田吉夫君

● 結婚祝い



和気勝利君 時庭稔君 石山桂子君
佐藤博君 藤崎善隆君

● 委員会報告 大島三千三副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

● ゴルフ愛好会 高木慶一君

6月14日(金)18時、会費1,000円、第1グループゴルフ大会の団体準優勝。

個人戦、大森貞男さん優勝、植竹一裕さん準優勝の祝勝会を石山で開催します。出欠を回覧していただきますご記入をお願いします。



😊 ニコニコボックス 小野安正君



藤崎善隆君 結婚祝いありがとうございます。

佐藤博君 結婚祝いありがとうございます。

時庭稔君 結婚祝いありがとうございます。

● 社会奉仕委員会 委員長 藤崎善隆君



本日18時より、黒磯公園そばの「大幸」さんと、那珂川水質調査の慰労・反省会を行います。ご参加の方はお集まり下さい。

また、例会終了後、村山年度理事役員会がございます。その後、吉光寺年度理事役員会を行います。次年度理事役員の方はお残り下さい。

🌟 卓話 次期会長・幹事
クラブフォーラム

● 次期会長 吉光寺政雄君



この度、黒磯ロータリークラブ第60代会長に就任することになりました。ロータリー歴も浅く、年齢も若輩者の私ですが、60年続いてきた黒磯ロータリークラブの歴史に恥ずかしくない会長として1年勤めて参りたいと思います。先輩諸兄のご指導ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

2019～2020年度国際ロータリー マーク・ダニエル・マローニー会長のテーマは、「ROTARY CONNECT THE WORLD～ロータリーは世界をつなぐ、です。会長は、「ロータリーの礎は【つながり】です。若い弁護士としてシカゴにきたポール・ハリスが、ロータリーを創設した最大の理由は、見知らぬ街で人々と【つながる】ことでした。」「ロータリーは家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する必要があります」と仰っています。

また、第2550地区川嶋幸雄ガバナーは、「ロータリーの未来のために、今までのロータリーの枠にとられない、新しいアイデアや行動力が求められています。」とし、会員拡大・退会防止、地域の未来のために子どもたちを守ることを、栃木県出身で米山記念奨学会の設立に尽力された古澤文作氏(元東京ロータリークラブ会長)の顕彰を唱えられています。

これらを踏まえて、2019～2020年度、黒磯ロータリークラブでは、会員増強1名、家族も楽しめる親睦行事の実施、子どもたちの為、子供食堂への支援、60年の節目を迎えるにあたり、これまでクラブで寄付してきた施設備品の修繕を重点目標として参ります。

【本年度の計画】

- ① 例会の充実 楽しい親睦行事の実施
- ② 会員増強1名
- ③ ロータリー財団支援：US180 \$ /1人(財団 \$ 150+ポリオプラス \$ 30)
- ④ 米山記念奨学会支援：19,000円/1人
- ⑤ 子供食堂への支援
- ⑥ 過去クラブで寄贈した設備備品の修繕

ロータリークラブは、専門職の方々の集まり、職業

を通じて地域や社会に奉仕する、職業奉仕が基本かと思えます。せっかく卓話のお時間を頂戴しましたので、私の職業についてお話をさせていただきます。私の職業は、葬儀社経営でございます。葬儀というお仕事は、古くは地域で担われていました。地域の皆さんが葬儀の手伝いを、宗教者とともに行っていました。村八分、という言葉があります。これは、近所付き合いを10とすると、火事と葬式の手伝いを除く、八部は付き合い合わない、あるいは疎外される、という意味です。逆に言いますと、火事と葬式は、人手が足りないから、普段は付き合い合わない人々にも手伝ってもらわないと困る、という事情もあったのかと推察されます。寺男、或いは地域の方々が担ってきた葬儀も、時代とともに、各手配師が必要になりました。様々な買い出しや、人の手配など、葬儀社の原点は、人足集めを中心として、手配師という側面があったようです。そこから葬具の手配や車両の手配を生業とした、葬具社が起こり、昭和から平成の時代になる頃から全国的に葬儀会館が建設されるようになりました。

弊社は、私の父が創業して今期で43期目です。法人改組するまでを加味すると、約45年地域の皆さまにお世話になってきました。

私の父は、地域社会に奉仕というスローガンを掲げていました。父が存命の頃は、自宅葬で組内のお手伝いが必要でしたので、まさに、村八分、村二分といいますが、近所総出でお手伝いにあたっていたと思います。そのなかで、近所付き合い、地域の文化や風習を大切にしたいという思いから先ほどのスローガンを掲げたのだと思います。最近では、組内のお手伝いを頂かないお葬式も、街場を中心に増えてきています。理由としては、近所の方の手を煩わせたくないという配慮、また組内の方からすると、身内の葬式でもないのに、会社を忌引きで休めない、と様々な理由から弊社のような葬儀社に全てお任せという場合が増えてきています。一方で、弊社がお手伝いする葬儀のなかには、生活保護受給者や黒羽刑務所の受刑者の葬儀もあります。

私は、この職業を通じて、地域とともに生きている、地域の皆様にお使い頂いている、そんな気持ちでおります。改めて、この素晴らしい職業を残してくれた父に感謝の想いでいっぱいです。

ときどき思いますが、会社経営となると様々な支払いが発生します。人件費や支払い、税金など。支払が発生するので、売上や利益が必要になるわけですが、本質においては、亡くなった故人への敬意、その人の人生に想いを馳せること、ご遺族のお話をよく聞いて、一緒に考え、構成すること、その本質を忘れてはならない、と強く思います。

継続は力。会社も、継続することで何度もご利用頂くお客様、自社の知名度、職業上のスキルやノウハウの蓄積、社会からの信用が生まれるのだと思います。継続するには、適度な売上や利益が必

要です。他方で、先ほど申し上げました、いい意味で田舎の葬儀屋さんといいますが、この職業の本質を忘れてはならない、と思います。

拙いお話になりましたが、黒磯ロータリークラブ会員企業の皆様のご発展、皆さまご家族の健康を祈念申し上げ、職業を通じた地域社会への奉仕、職業人としての自己成長に想いを馳せつつ、卓話とさせていただきます。皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。ご静聴ありがとうございました。

● 次期幹事 藤崎善隆君



次年度幹事を仰せつかりました藤崎です。よろしくお願い申し上げます。

数ヶ月前に、吉光寺さんから「ハナシがあるので今いますか？」とのお電話を頂き、幹事就任の打診を受けました。ロータリー歴も浅く、躊躇も致しましたがお引き受けさせて頂くことと致しました。今年に入り、各種の研修会や地区よりのご連絡を頂き、実感がわいてきているところでございます。先に述べましたとおり、経験も浅く吉光寺次期会長はじめ皆さまにご迷惑をおかけすることもあろうかと存じますが、先輩方のご指導を頂きながら、失敗もなるべく最小限にとどめられるよう努力致しますので、よろしくお願い申し上げます。

私は高砂町の等覚院という寺の住職を務めさせて頂いておりますが、今日は「僧侶」としての活動の一部をご紹介させていただきます。一般に皆さまの目に触れる機会と申しますと「葬儀」や「法事」の機会がほとんどであるかと思えます。実際私たちが所謂「布教」を試みるのもそうした機会でありまして、特に「お通夜」法要の後は時間の余裕もあることからお話しさせて頂くようにしています。逆にそれ以外で皆さまの目に触れることは、檀信徒の方でもなかなか機会がないのではないかと思います。本日は「葬儀」「法事」以外の場での活動について少しお話を申し上げます。

私は日蓮宗の中で「声明師(しょうみょうし)」という資格を頂戴しておりまして、法要儀式のあり方について皆さまにお伝えする役目を担っております。栃木県の「声明師」の集まりであります栃木県声明師会では会長を務めさせて頂き、その全国組織である日蓮宗声明会連合会では常任理事の役を頂い

ています。その日蓮宗声明会連合会では毎年広島県宮島の厳島神社で「法華経読誦施餓鬼法要」を営んでおります。厳島神社には「千畳閣」という大きな建物があります。これは豊臣秀吉公が朝鮮出兵による犠牲者の供養を志し、千人の僧侶による、所謂「千僧供養」を行うために建立したのですが、未完のうちに秀吉公が没し建造もストップしたまま現在に至ります。つまり千僧供養も行われずにこれまできたものであります。ここで平成8年を第1回として、日蓮宗声明会連合会の有志の僧侶が法要を積み重ねて参りました。1度に千人の僧侶を集めることは現実的に不可能であります。回を重ねて20回目となる平成27年に延べ人数で一つの目標でありました千人を超えました。法要では朝鮮出兵の戦没者のみならず、太閤秀吉公、また戦国時代の戦乱で犠牲になった方々、更にその後の戦争などの犠牲者、殊には広島原爆の犠牲者に対してのご回向も行われました。現在も回を重ねて、本年も11月6日に厳修されます。

ご承知の通り厳島神社は世界的な観光地でありますので、多くの観光客が常にいらっしやいます。そうした方もその法要に自由にご参列・ご見学頂けます。「日蓮宗」という特定の宗派の僧侶が、「厳島神社」という別の宗教法人の施設で法要を行うということはなかなか見られない光景であります。機会がございましたら是非宮島に足を運んで頂ければと存じます。

● 2019-20年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
 ロータリーは世界をつなぐ

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強く末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつ

ながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。



21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとすることで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

6月 5日欠席(敬称略)
 荒井昌一・齋藤幸夫・鈴木久雄・戸野俊介
 檜山達郎

前回 5月29日分メイクアップ(敬称略)
 澤田吉夫・泉道夫・時庭稔

次回例会 令和元年6月12日 担当 会長・幹事・副会長 クラブ協議会

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105